

**宮城県美田園高等学校**  
**令和6年度 第2回学校評議員会 記録**

**1 日時**

令和7年3月9日（日）午後1時～午後2時20分

**2 会場**

宮城県美田園高等学校 会議室

**3 情報交換**

**I 令和6年度教育活動についての質疑**

**【A評議員】**

生徒数が増加し、現在の状況が厳しいと感じている。支援学級の生徒も増えているが高校進学時  
に選べる学校が限られており、公立では選択肢が少ない。問題は高校だけでなく、中学校や小学校  
からの積み重ねであり、全体的に考えないと解決が難しいと感じている。全日制の学校には行けず、  
特定のシステムの学校を選んでも、その受け皿が狭まっている。全体的に考えないと解決が難しい  
と感じている。

**【校長】**

宮城県では、令和7年度から次期将来構想、特別支援の計画を向こう10年間ぐらいのものを今  
策定しているところである。そこに、今までは児童生徒という言葉が、「幼児児童生徒」という、幼  
児も含めたりとか、目標のところ、今まで高校というのはなかったが、「高等学校等においても」  
という言葉も加わったりすることで、そういう意識は当然出てきている。

**【A評議員】**

職場環境について、特に給料の問題もある。結果として、教員が減り、生徒に教える人が不足す  
るのではないかと懸念している。

**【校長】**

その通りである。特に小学校の倍率が顕著に低くなっている。高校の方は科目によって随分幅が  
ある。

**【B評議員】**

特別活動と行事等の参加状況が、昨年に比べて高まっているが、これは生徒数が増えたからなの  
か、それとも意識が少し高まり、ある意味よい傾向があるのか、単純に生徒数が増えたから全体に  
増えたということなのか。

**【校長】**

理由として、分母が増えたことや、中学校卒業後すぐに入学する生徒が増えたことが考えられる。  
生徒たちは3年間で30時間分の出席が必要であり、早めに出席時間を確保しようとする意識があ  
る。今年度の新生は、出席時間を均等にするのではなく、多く取る傾向がある。今年は分母が多  
いため、出席時間が増えていると推測している。また、就職や進学に関する学校評価も高いことか  
ら進路関係の行事に多く参加していると思われる。

**【C評議員】**

2点ある。1点目は、全体の入学者について一般入学生と編入生の割合もあると思うが、特に一

般入学生に不登校の生徒が多いのではないかと考えている。不登校の生徒の割合について知りたい。

2点目は単位の合格者割合について、学び直しの教科は修得が難しいが、生徒たちは3年から4年かけて単位を修得している。生徒や先生たちの努力についても知りたい。

#### 【教頭】

不登校生徒の割合は多い。基準は30日以上欠席である。学び直し関係の科目については内容を身に付けて単位を取るの難しいが、スクーリングとレポートを期限内にクリアし、先生や学習支援室のサポートを受ける。テストで点が取れなくても補充指導を受けることで単位を修得し、次年度には必修科目を登録して卒業を目指している。

#### 【校長】

学習支援室の話も出たが、自分で助けを求められる生徒はなんとか苦勞してでも単位修得いけるが、どこにも何も言えない生徒は、同じことを繰り返してしまうというところがある。

## II 令和6年度「学校評価アンケート」結果と分析についての質疑

### 【A評議員】

回答率について以前も話題に上がったが、17%や14%でも高いと感じている。世論調査と比較すると、これは非常に高い率である。回答率を上げる目的を考えるべきであり、資格試験の合格率等と比較するのは適切ではない。卒業文集の卒業生たちの感想は肯定的なものが多く、回答率は問題ないと感じている。

### 【C評議員】

否定的な意見が多かった施設設備のことは仕方がないと思うが、学習サポートについて個別指導の継続を求める声について説明をいただきたい。これだけ見ると、個別指導もやめてしまうのか。

### 【教頭】

そういうことではない。個別指導の具体的なところとしては、学習支援室が1つ、それから、生徒が担当の教員に電話等で約束をして、学校に登校し、そこで個別で教わることもずっとやっている。それが効果的で良かったので続けてくださいということだと思う。決してやめるつもりはない。

### 【B評議員】

先ほどの説明の中で、不登校の子供が多いと言っていたが、不登校になる原因は人間関係などだと思う。アンケートの中で問題にしているが、現実問題としてそういう事象はあるのか。

### 【教頭】

アンケートを生徒に別で取っているが、基本的にはない。そもそも人間関係が作られることがほとんどなく、日々出会う生徒が違うので、このような人間関係の中でそういったことは起こりにくい。声の主は特定できないが、からかいのような声があるということはあった。

### 【校長】

頻繁に出会う、クラス固定するなどの決まったコミュニティがないので、今日来ただ次の週は会わないという形になり、深い人間関係が構築しづらい。本当に友達同士なら一緒に来たりすることはあると思うが、他の学校であるような陰湿ないじめは環境的に起きづらい。今話があった、嫌なことを言われたということはあるかもしれない。

### 【B評議員】

学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいると書いてあるが、実際にどういうことをやっているのか。

### 【教頭】

具体的には、アンケートを取るということと、先生方が巡回をしている。毎時間必ず2人ペアになり、この校舎、施設全部を回り、外も近くのコンビニエンスストアまで回っている。先生方が常に見ているよということで、何かあればすぐ声をかける。そういうことで、いじめや特別指導に当たるといったことは未然に防ぎ、あったとしてもすぐに対応できている。

## Ⅲ 令和6年度学校運営改善の取組についての質疑

### 【A評議員】

この生徒支援体制充実事業についてであるが、結局、予算要望するときの理屈である。私もそれで苦労した。これをやることによって期待できる効果などを示してはどうか。

### 【校長】

県の予算が決まっていて、それを義務教育も含めて配分している。本校は高校分であり、それも何校かで割っている。県の予算が増えない限りは同じである。

### 【A評議員】

そうすると、県の内部で教育部局から財政部局に要望するときに、そういう理屈を考えて、大枠そのものを増やさないと難しいということだ。

### 【教頭】

なかなか難しいが、なんとか校内のやりくりで来年度は行う。今年度よりは配置回数と人数は増やせそうである。

### 【C評議員】

不登校の生徒の割合は全国的にも増加している状況が見られる。宮城県や仙台市でも同様である。この学校は不登校だった子供たちの貴重な受け皿となっており、学び直しの場合として重要な役割を果たしている。県内の他の県立高校は定員があるが、通信制のこの学校は幅広く受け皿となっている。

校長先生が話したように、高校の数で割るのは当然だが、現状を考えると、この学校に追加の予算が必要だと思う。施設設備は新しいが、不登校の子供が増えている現状も影響している。ここを選んだ子供たちが充実した学習や生活を送れる環境を整えることが重要であり、県の方針としても大切である。不登校対策に力を入れると言っているが、具体的な決定打がないままである。この学校を充実させることが重要であり、強く要望してほしい。

### 【A評議員】

情報発信に向けた取り組みについて、客寄せパンダが必要だと考えている。普通に何かをやるよりも、「美田園高校ってこんなことやるの？」と思わせるようなものが必要である。目を引く工夫が必要だと感じている。

地域の人々に注目されるような取り組みが必要である。単独で難しい場合は、他の組織と連携して行うことも考えられる。過去に見たステージ発表会では、美田園高校の生徒たちの才能に驚かされた。こうした才能をアピールするために、発表会を体育館で行い、近隣住民にも案内を出すなどの工夫が考えられる。

## 4 各評議員からの助言

### 【B評議員】

今日、卒業式を見させていただいて、感激してしまいました。何回も見ているが、今日は特に感動した。昔、美田園高校で、卒業まで到達してくれる子供はそれでいいと思うが、卒業できない生徒、在籍しているけど卒業しない子供が増えてしまって、何年も連絡がつかないこともあった。整理して今の人数になったと思うが、今でも卒業できずに退学してしまう子供たちは結構いるのだろうか。

一応高校の問題ではないと思うが、卒業まで行けなかった子供たちが、自ら進路を選んで違う方に行くのはいいと思うが、そうでない場合、その辺どうなるのか。今日、卒業式を見ながら卒業できなかった子供たちはどうなるのかと思った。学校の問題ではないかもしれないが、今日の感想である。

### 【A評議員】

卒業文集を読んで気づくことが非常に重要だと感じた。何かをやりたい時に気づくことが大切で、気づくだけで人の人生は大きく変わると考えている。例えば、うまく走れなくなった時に本や動画で学び、試してみたら慣れてきたという経験がある。

目標達成のために自分を律することの重要性を感じた。卒業文集には、最初は学校に来る気がなかったが、何かのきっかけで気づき、一生懸命やって卒業に至ったという生徒の話が多い。気づくことが美田園高校の生徒にとって一番必要だと感じている。

気づきや手助けができれば、生徒や保護者からの学校に対する評価も上がるのではないかと考えている。

### 【D評議員】

美田園高校では自主的に退学する生徒もいると思うが、年限が来て3年間登録しなかった場合に自動的に除籍となる。登録さえすれば長期間在籍できるため、様々なことが起こりながらも在籍し続ける生徒が多い。スクールソーシャルワーカーとして多くの高校を訪れてきたが、全日制高校での取り組みは意外と知られていない。

高校で注目されるのは難関大学への合格者数などで、進学校の生徒が辛い状況にあることは知られていない。先生方の努力も周知されていない。例えば、アイデアルスクールの発足に向けた取り組みは新しい方法だと反応があるが、既に他校で行われていることが知られていない。美田園高校での取り組みも周知が難しい。ロコミや研修会での雑談などを通じて伝えることが重要である。

多部制単位制高校や定時制高校についても誤解が多い。地道に情報を伝えることが大切であり、テレビや新聞、ネットニュースで取り上げてもらうと効果的である。美田園高校では完全単位制や常勤の養護教諭、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置が進んでおり、これらをもっとアピールすべきである。

### 【C評議員】

進路決定状況について、1月時点で全体の約3分の1にあたる70名ほどの生徒が進路を決定している。残りの生徒の状況について関心がある。進路が決まった生徒は良いが、その他の生徒のサポートが重要である。高校までは先生との距離が近いが、大学や専門学校では距離があり、生活指導も丁寧になってきているが限界がある。卒業後も地域の支援者や就労支援と繋がるのが大切で

ある。

入学する生徒の多くが不登校経験者や編入生であり、挫折体験を持っている。卒業式で感激したが、ここで終わりではなく、次のステージへ進むための希望を繋げることが重要である。中学校には適切な指導をして高校を選択させてほしい。大学側もやりたいことを持って入学してほしいと考えている。生徒がこの学校で何かを見つけ、次へ希望を繋げられるようにしてほしい。そのためには、予算を増やすなどの支援が必要であり、今後も継続して要望していくことが大切である。